

日本放射線安全管理学会からのお知らせです

日本放射線安全管理学会シンポジウムおよび県民の方々のための放射線勉強会と相談会のご案内  
－ 放射線への疑問を一緒に考えます －

福島県民の皆様へ

拝啓

東日本大震災および原子力災害から二年が過ぎました。甚大な被害に見舞われました福島県の皆様に一日も早い復興を、日本放射線安全管理学会員一同、心よりお祈り申し上げます。

当学会は、放射線を取り扱う施設において放射線管理に従事している実務者を中心とした学会で、事故当初より、国や福島県に協力して環境中の放射線量や飲食物の放射能計測を行うとともに、放射線安全のための実際的な課題に関して検討を行い、その情報や結果を発信してまいりました。

本学会は、昨年6月、郡山市のご協力を得て「福島の早期復興に向けて」と題したシンポジウムを郡山市にて開催いたしました。今年も、郡山市のご協力をいただき6月13日、14日に郡山市民プラザ（郡山駅前”ビックアイ”内）でシンポジウムを開催いたします

このシンポジウムでは、原子力災害による汚染の現状とモニタリング、健康や環境、農業等への影響と今後の見通し、復興に向けた活動の進捗等を中心に、さまざまな調査や検討結果を報告していただき、今後について意見交換を行います。特に、福島の復興にとって重要な「食物の安全」については、サイエンス・ライターの松永和紀さんに、「食の安全と安心」について語っていただき、風評被害への対処や氾濫する情報の読み解きについて考えてみたいと思います。

さらに、翌6月15日(土)には一般の方々と父母の方々に向けた放射線勉強会と相談会を実施いたします。一般向けの勉強会（郡山市民プラザ（郡山駅前”ビックアイ”内）で開催）では、「汚染の現状と今後 -過去の汚染事例から学ぶ-」というタイトルで、過去の汚染事例や放射線を巡る経験を含めて汚染の現状を理解し、福島の今後について考えます。

また、父母の方々向け勉強会（ペップキッズ郡山で開催）では、「子育てと放射線（仮称）」というテーマで放射線のリスクと放射線への向き合い方、日常生活での放射線対策の必要性や効果などに関して、皆様と一緒に考えます。

また、それぞれの会場には相談コーナーを設けますので、日常生活での疑問、シンポジウムや勉強会での疑問点などを出していただきたいと思います。どうぞご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

平成 25 年 4 月 4 日

日本放射線安全管理学会

会長 野村貴美  
企画委員長 松田尚樹

## 第10回日本放射線安全管理学会（JRSM）6月シンポジウム

主催： 日本放射線安全管理学会  
共催： 福島県（予定）、郡山市（予定）、日本保健物理学会  
日時： 6月13日（木）13:00～17:45  
6月14日（金）10:30～16:30  
会場： 郡山市民プラザ7F大会議室（郡山駅前”ビックアイ”内）  
参加費： 福島県の一般市民の方 無料（先着80名）  
交流会： 場所未定 4,000円（定員80名）

参加申込方法：申込専用サイト（下記）よりお申し込みください。締切は5月31日（金）です。  
[www.symposium.jrsm.jp/2013/index.html](http://www.symposium.jrsm.jp/2013/index.html)

### プログラム

#### 6月13日（木）

12:00 受付開始

13:00 開会

13:15 基調講演 福島復興の現状

座長：野村 貴美

1. 福島復興に向けた取り組みの現状と課題

環境省環境保健部放射線健康管理担当参事官 桐生 康生

2. 川内村の全村避難から帰村、復興状況

福島県川内村復興対策課長 井出 寿一

14:15 休憩

14:30 セッション1 モニタリングデータ総まとめ

座長：榎本 和義

1-1 放射能モニタリングの課題と放射線安全管理学会の取り組み

高エネルギー加速器研究機構 榎本 和義

1-2 飯舘村大気中の放射線測定 - ふくしま再生の会との共同研究

<sup>1</sup>国環研、<sup>2</sup>ふくしま再生の会、<sup>3</sup>高エネ研、<sup>4</sup>東大農

土井 妙子<sup>1</sup>、鈴木 一成<sup>2</sup>、菅野 宗夫<sup>2</sup>、土器屋 由紀子<sup>2</sup>、岩瀬 広<sup>3</sup>、溝口 勝<sup>4</sup>

1-3 福島県農業総合センターの活動 - 高濃度汚染米の対策

福島県農業総合センター 吉岡 邦雄

1-4 個人被ばく線量のモニタリングの考え方

長瀬ランダウア（株） 壽藤 紀道

1-5 郡山市の活動—個人被ばく線量モニタリング

郡山市総務部

16:35 休憩

17:00 講演 座長：矢島 千秋  
チェルノブイリ周辺地区の現状  
長崎大 高村 昇

18:00 懇親会 (20:00 まで)

6月14日(金)

10:00 受付開始

10:30 セッション2 学会員の活動報告

座長：三好 弘一

2-1 郡山市、南相馬市での活動

東京工業大 富田 悟

2-2 原発由来物質対策委員会の活動

名古屋大 西沢 邦秀

2-3 ポスタープレゼンテーション

12:00 昼食休憩

13:00 講演

座長：古田 悦子

食の安全と安心を考える～氾濫する情報をどう読み解くか

科学ライター 松永 和紀

14:00 休憩

14:15 セッション3 健康リスクの考え方

座長：伊藤 茂樹

3-1 甲状腺検査について

福島県立医大 鈴木 眞一

3-2 胎児被ばくの考え方

放射線医学総合研究所 島田 義也

3-3 規制値の考え方

放射線医学総合研究所 米原 英典

16:00 総合討論

座長：山口 一郎、松田 尚樹

17:30 閉会

## 一般市民のための放射線勉強会と相談会

主催： 日本放射線安全管理学会  
共催： 福島県、郡山市  
日時： 6月15日（土）10:30～15:00  
会場： ①ペップキッズ郡山

### ファミリー向け勉強会・相談会

放射線のリスクと放射線への向き合い方、日常生活での放射線対策の必要性や効果などに関して、皆様と一緒に考えます。

担当予定 松田 尚樹、山口 一郎 伊藤 茂樹他学会員

②郡山市民プラザ（郡山駅前”ビックアイ”内）

### 一般市民向け勉強会・相談会

「汚染の現状と今後 -過去の汚染事例から学ぶ-」

担当予定 野村 貴美、田邊 裕、矢島 千秋、馬場 護 他学会員

参加費： 無料

参加申込方法：

申込は不要ですが、放射線に関する質問を事前に勉強会・相談会事務局（[symposium@ric.titech.ac.jp](mailto:symposium@ric.titech.ac.jp)）までお送りいただいても結構です。

なお、相談の秘密は守りますが、質問頂いた内容は個人を特定できないように一般化して勉強会で紹介させていただく場合があります。個人の秘密に関することは、暗号化されていないメールには書かないことをお勧めします。

締切は5月31日（金）です。